

第16回宇治市交通 バリアフリー検討委員会

令和7年3月4日(火)15:00～

ゆめりあうじ4階会議室

宇治市都市整備部交通政策課

本日の内容

(1)基本構想策定の経過

(2)進捗状況

①全体の進捗状況

②令和6年度に実施した事業

③心のバリアフリーの実施状況

④京都文教大学との連携事業の報告

(3)その他

(1)基本構想策定の経過

①宇治市の全体構想

構想時期：H17.7策定、H27.3改定

目的：いわゆる「交通バリアフリー法」(H12)に基づき計画的にバリアフリー(以下「BF」と表記)を進めるため策定

内容：1)市内のBF化を推進するため、市全体の交通BFに関する「基本理念」、「基本方針」を定める
2)市内14駅を中心とした地区から「重点整備地区」を抽出

①宇治市の全体構想

◆基本理念

すべての人が安心して出かけられる、
やさしさにあふれたまち・宇治

◆基本方針

- ◎ すべての人が安全に安心して移動できるまちづくりを推進します。
- ◎ 交通利便性の向上を図り、だれもが快適に過ごせるまちづくりを推進します。
- ◎ やすらぎと思いやりにあふれた支え合いのまちづくりを推進します。

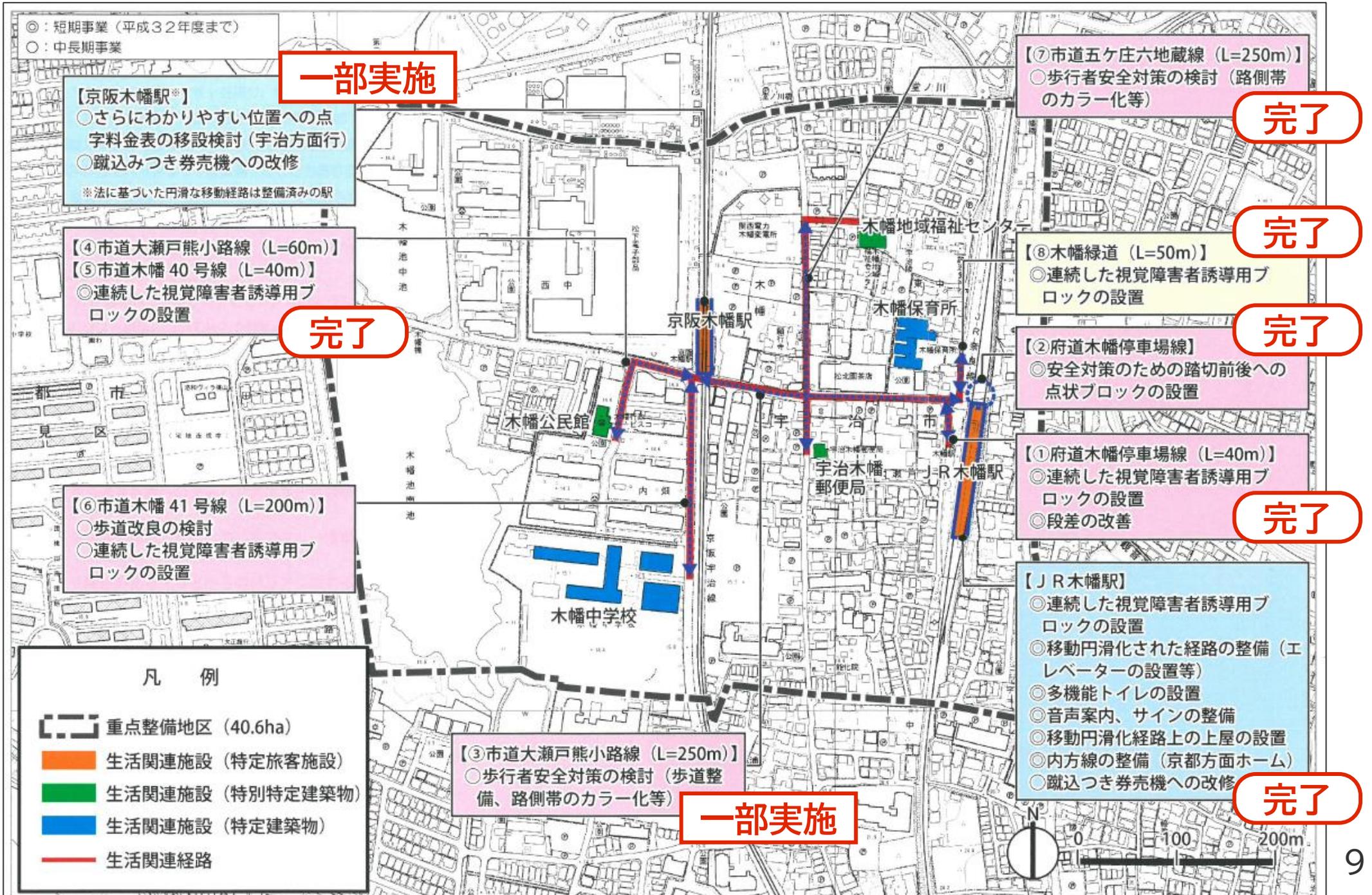
②宇治市の基本構想

基本構想	策定時期	周辺駅	目標年次
大久保駅周辺	H18.11	JR新田 近鉄大久保	H22
宇治駅周辺	H19.3	JR宇治 京阪宇治 京阪三室戸	H22
木幡駅周辺	H28.3	JR木幡 京阪木幡	H32(R2)
黄檗駅周辺	H29.3	JR黄檗 京阪黄檗	H32(R2)
伊勢田駅周辺	H30.3	近鉄伊勢田	H32(R2)

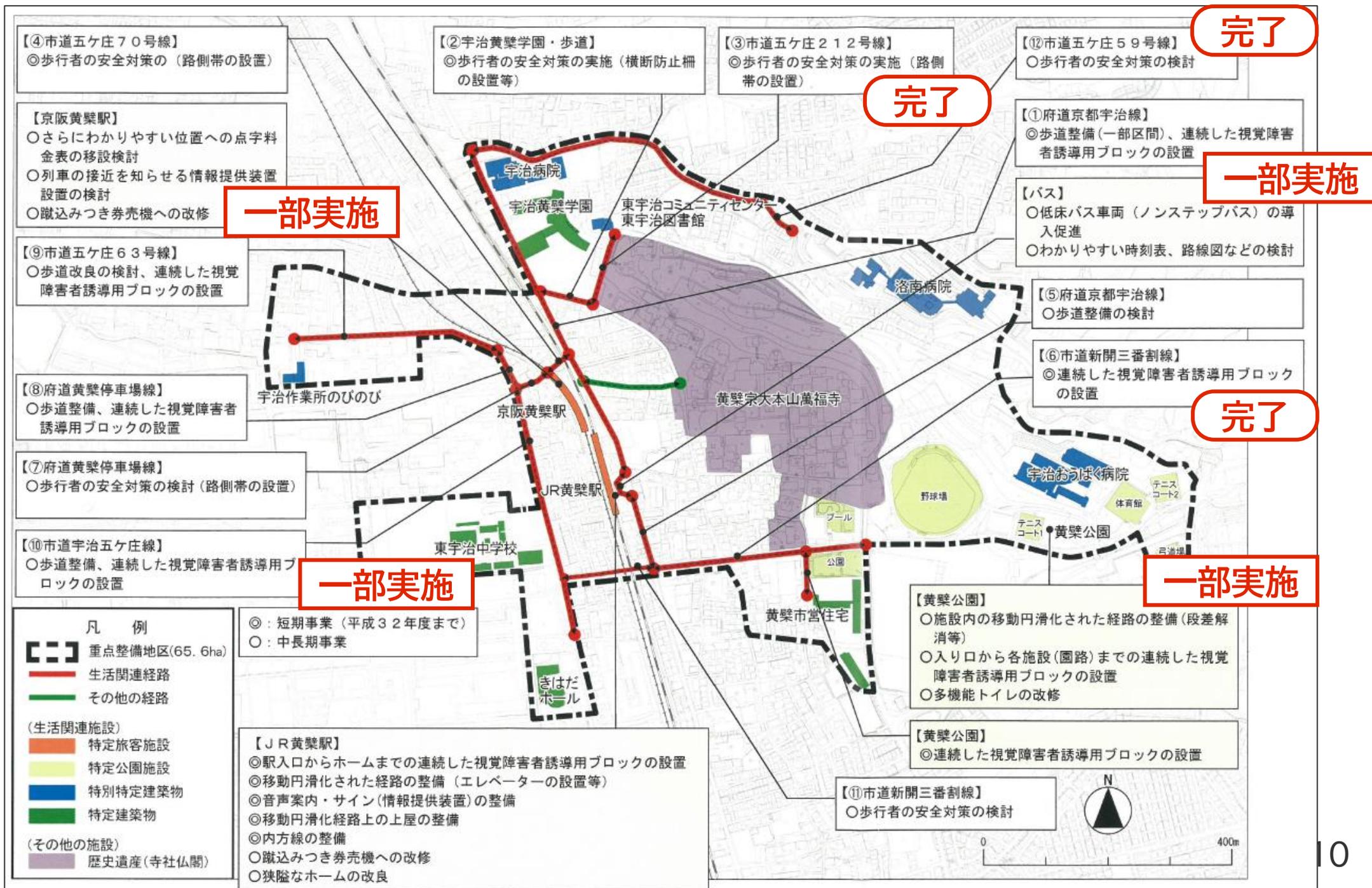
(2)進捗状況

①全体の進捗状況

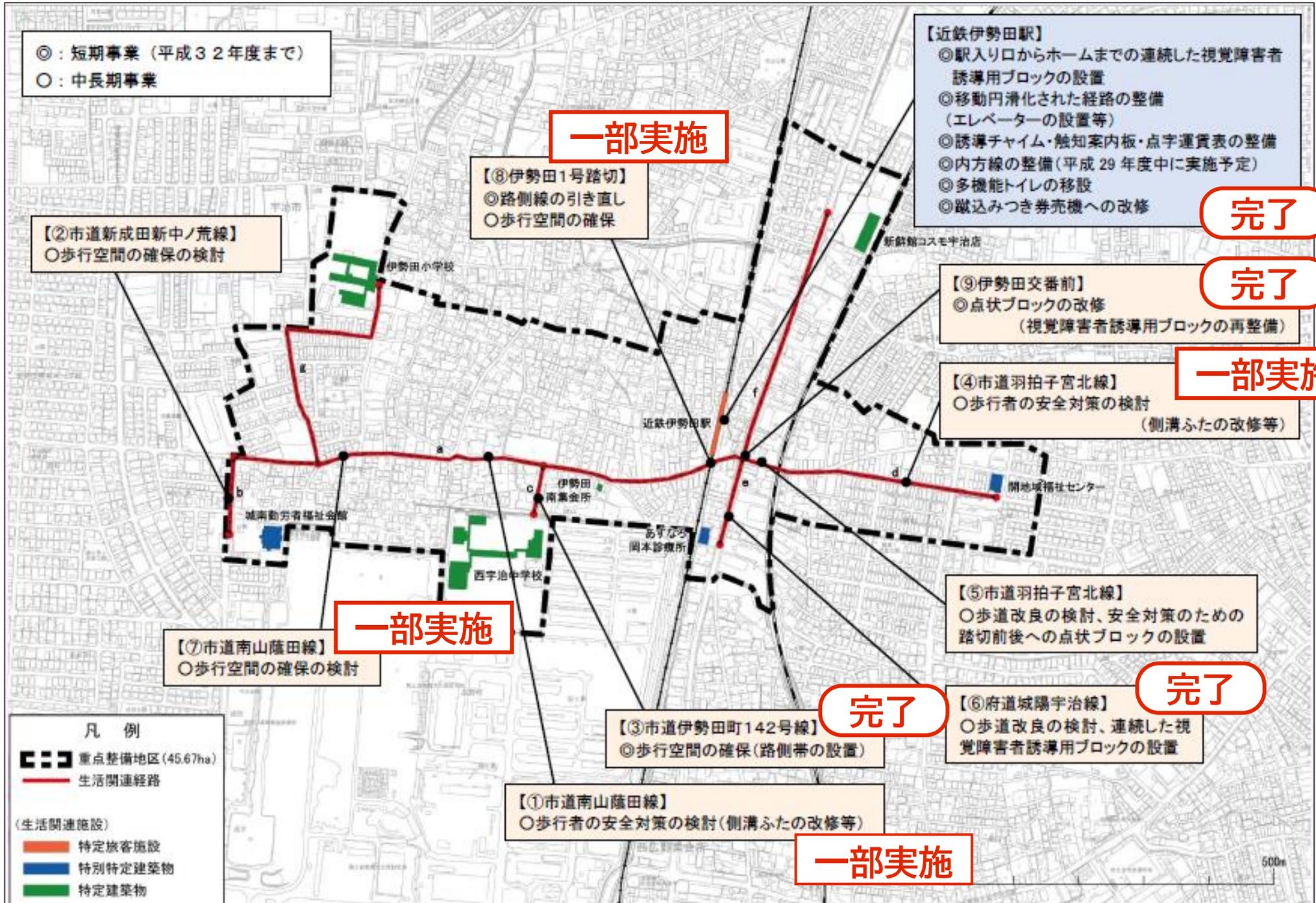
①全体の進捗状況(木幡駅周辺地区)



①全体の進捗状況(黄檗駅周辺地区)



①全体の進捗状況(伊勢田駅周辺地区)



②令和6年度に実施した事業

②令和6年度に実施した事業(黄檗駅周辺地区)

◆黄檗駅BF化工事(西日本旅客鉄道(株))

◎全体の工事概要

	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
詳細設計					
工 事					

- ・エレベーター設置
- ・券売機蹴り込みの整備
- ・内方線付き点状ブロック整備
- ・バリアフリースイレ新設

等

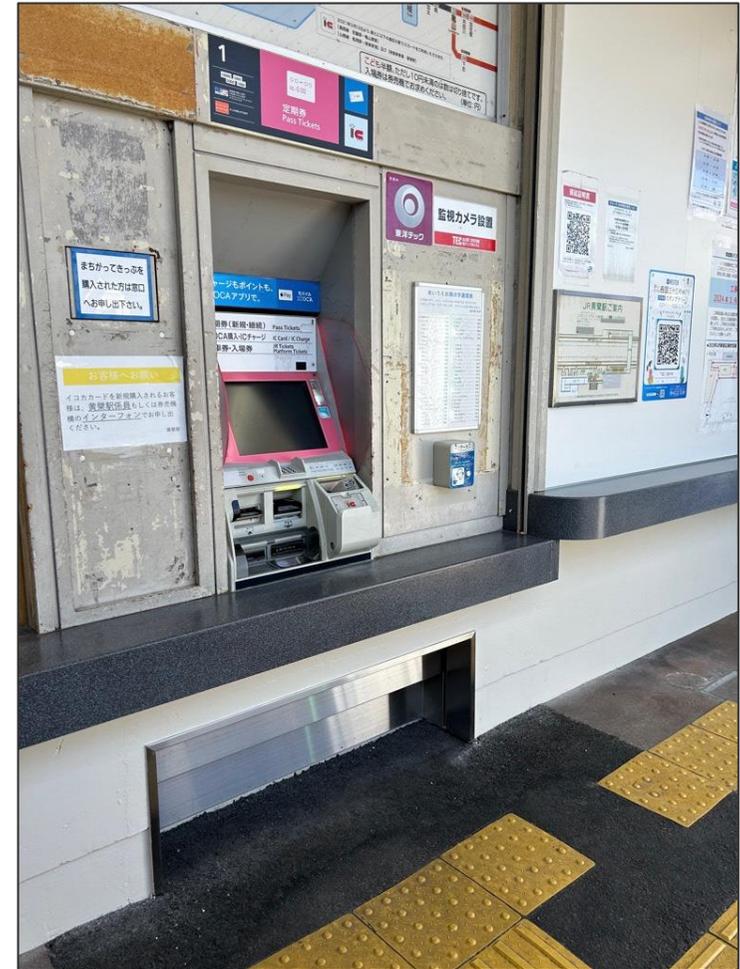
②令和6年度に実施した事業(黄檗駅周辺地区)

◆黄檗駅BF化工事(西日本旅客鉄道(株))

【上りEV外装工事】



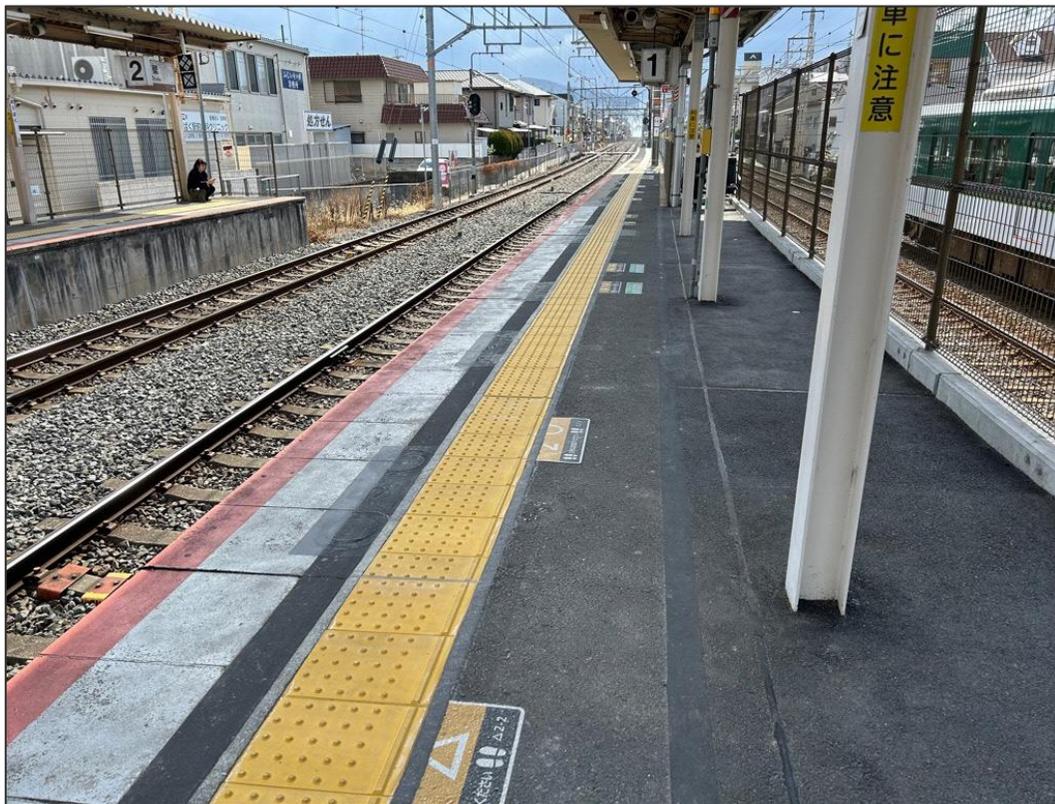
【券売機蹴り込み整備】



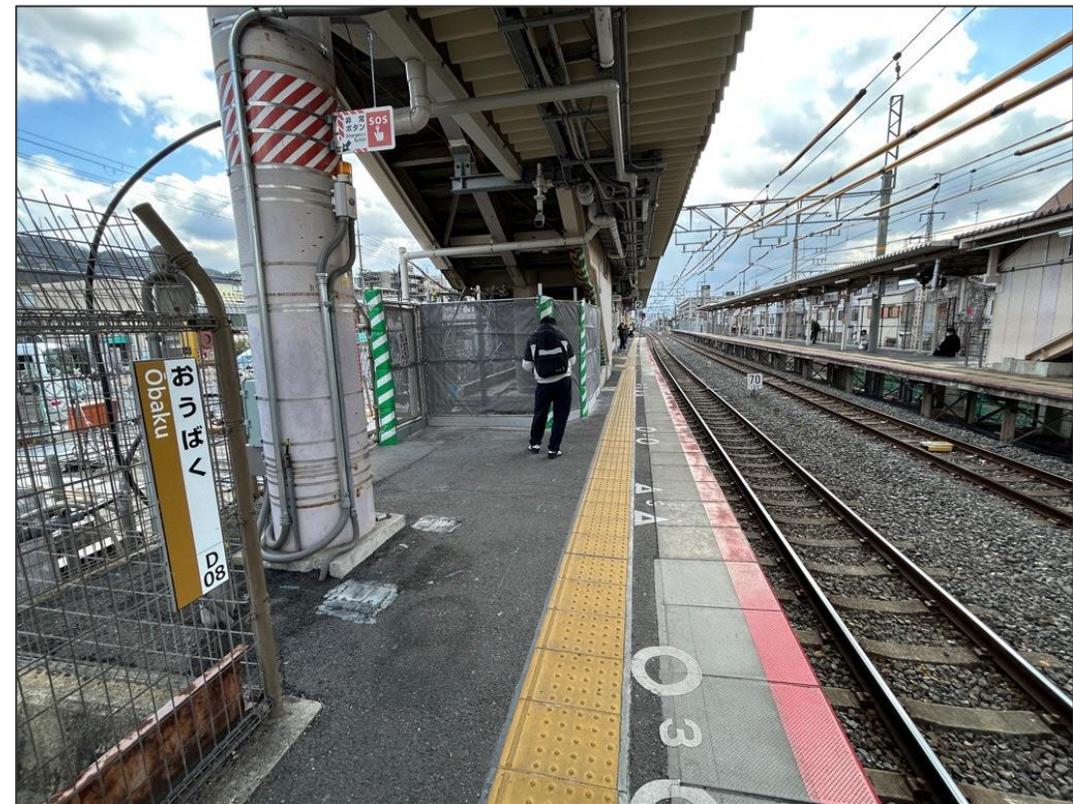
②令和6年度に実施した事業(黄檗駅周辺地区)

◆黄檗駅BF化工事(西日本旅客鉄道(株))

【内方線敷設(上り)】



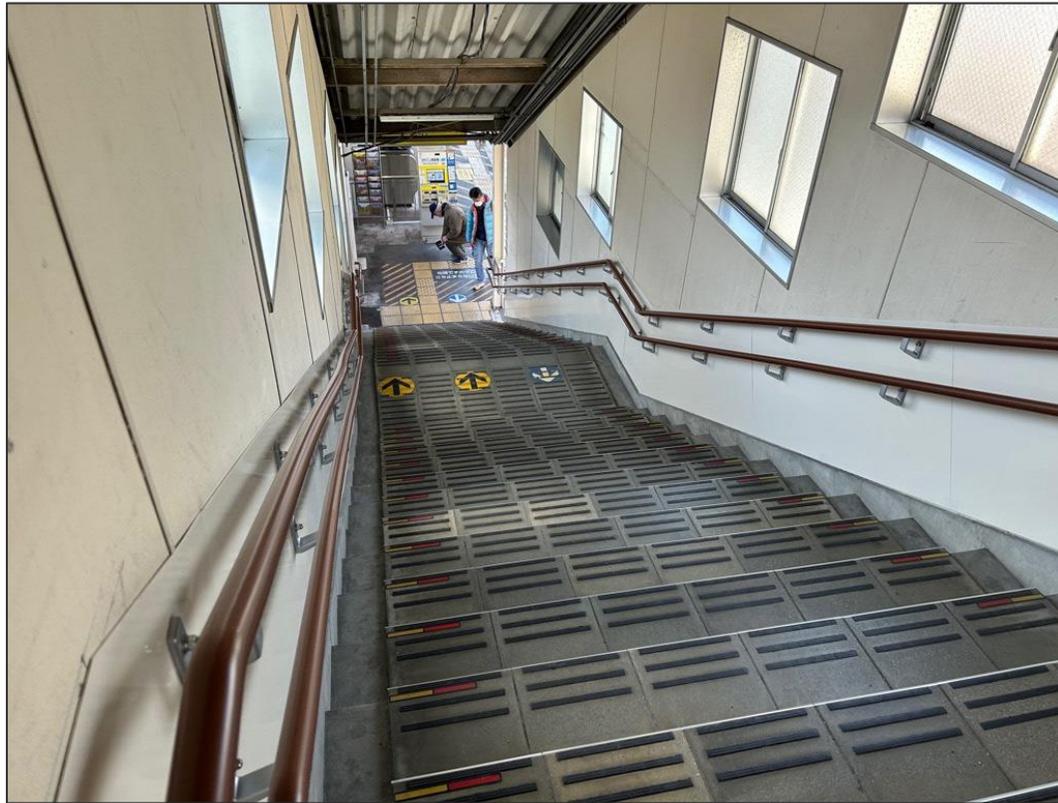
【内方線敷設(下り)】



②令和6年度に実施した事業(黄檗駅周辺地区)

◆黄檗駅BF化工事(西日本旅客鉄道(株))

【こ線橋二段手すり①】



【こ線橋二段手すり②】



②令和6年度に実施した事業(黄檗駅周辺地区)

◆黄檗駅BF化工事(西日本旅客鉄道(株))

【スロープ移設①】



【スロープ移設②】



※令和7年1月29日から供用開始

②令和6年度に実施した事業(黄檗駅周辺地区)

◆黄檗駅BF化工事(西日本旅客鉄道(株))

【旧スロープ封鎖】



【旧スロープ撤去】



③心のバリアフリーの実施状況

③心のバリアフリーの実施状況

◆宇治小学校でのBF体験学習

目的：当事者の疑似体験等を通じ、バリアフリーへの関心を高めるとともに、困っている人への声かけ等行動変容を促す。

日時：令和6年7月4日(木)、7月5日(金)

対象：宇治市立宇治小学校5年生(114人)

内容：①車いす体験、②ブラインド体験



③心のバリアフリーの実施状況

◆宇治小学校でのBF体験学習

結果：体験学習後のアンケートでは、約半数の61名の生徒が体験を通じて気づきがあったと回答があった。

自由感想の中で、「当事者の不安や大変さがわかった」「困っている人がいたら声をかける」という意見が多くあった。

45分という短い時間での実施ではあったが、目的であったバリアフリーへの関心を高めることや、声かけへの行動変容を促すための、一定の効果はあったと考えられる。

④京都文教大学との連携事業の報告

④京都文教大学との連携事業の報告

◆京都文教大学と連携した心のBF推進事業①

目的：当事者の講話を聞き、取り巻く状況の違いを知る

連携：京都文教大学臨床心理学部臨床心理学科2～4年生40名
(担当教員：准教授 松田 美枝 様、准教授 二本柳 覚 様)

日時：令和6年6月26日(水)13：00～

内容：①世代の異なる当事者2名の講話
②本市の障害福祉課職員による手話教室

成果：世代の異なる当事者の講話を聞くことにより、時代による社会の受容性の違いや、取り巻く状況の違いを知るきっかけとなった。

また、併せて手話教室を行ったことにより、学生の関心がより一層高まった。

④京都文教大学との連携事業の報告

◆京都文教大学と連携した心のBF推進事業①



④京都文教大学との連携事業の報告

◆京都文教大学と連携した心のBF推進事業②

目的：学生自らの体験に基づく心のBF推進手法の検討

連携：京都文教大学臨床心理学部臨床心理学科1年生20名
(担当教員：准教授 松田 美枝 様、准教授 二本柳 覚 様)

内容：①事前学習、②体験学習、③まとめ、④周知検討を
10/10、10/17、10/31の計3回の授業で実施

成果：学生自らが体験学習を通じ感じたこと、気づいた
ことを基に、大学主催イベント「ともいきフェスティ
バル」にて、地域住民等の参加者に対し心のBFを
伝えるための企画を立案し心のBF推進を行った。

協力：近畿運輸局京都運輸支局

④京都文教大学との連携事業の報告

◆授業1回目 事前学習、体験学習①(R6.10.10)

- ・ 国での心のBF推進について(京都運輸支局)
- ・ 地方自治体でのBF化事業について(宇治市)
- ・ ブラインド体験とその介助(学生)



【京都運輸支局の説明】



【ブラインド体験の様子】



④京都文教大学との連携事業の報告

◆授業2回目 体験学習②、まとめ(R6.10.17)

- ・車いす体験とその介助
- ・全体を通じてのまとめ



【車いす体験】



【まとめ】

④京都文教大学との連携事業の報告

◆授業2回目 体験学習②、まとめ(R6.10.17)

- ・体験学習で感じたこと等をまとめて発表

【主な意見】

(車いす)

- ・砂利道等舗装されていない道での走行は難しい
- ・コンビニの上の棚や自販機の上の段が届かない

(ブラインド体験)

- ・点字ブロックに荷物を置かない等の心掛けが大事
- ・厚底の靴では点字ブロックがわからない

④京都文教大学との連携事業の報告

◆授業3回目 周知検討 (R6.10.31)

- ・ 11月24日開催の「ともいきフェスティバル」出展に向け体験ルートの検討、当日の役割分担等を相談



④京都文教大学との連携事業の報告

◆成果「ともいきフェスティバル」出展(R6.11.24)

- ・ 学生が立案した企画を実施
1回5分程度のコースを設定し、車いす体験、ブラインドウォーク体験を実施
- ・ パネル展示による心のBFの啓発を実施



(3)その他

(3) その他

◆各鉄道事業者のソフト施策の取り組み

◎西日本旅客鉄道(株)

- ①各駅社員を対象にBFマニュアルに基づいた教育を実施
- ②サービス介助士の資格取得を奨励(各駅で半数以上が資格保有者)
- ③駅や車内でのポスター掲出や案内放送等による啓発の実施
- ④各駅のBF設備や介助の申し込み先を記載したBFガイドの作成

(3) その他

◆各鉄道事業者のソフト施策の取り組み

◎近畿日本鉄道(株)

- ①運行情報のお知らせをディスプレイを使用し文字情報等で提供
- ②聴覚障害者へのご案内にスマホでのビデオ通話による、総合案内センターのオペレーターとの筆談が可能となるシステムを導入
- ③ホームページ上で各駅のBF情報を公開
- ④EVの定期点検予定日もホームページ上で公開
- ④社内や外部団体の障がい者対応研修資料を活用した、接遇技能取得向上に向けた訓練・研究会の継続実施

(3) その他

◆各鉄道事業者のソフト施策の取り組み

◎京阪電気鉄道(株)

- ①ユニバーサルマナー検定の取得(R7.3の検定でほぼ全ての係員が取得予定)
- ②スマホでのビデオ通話等が可能となる「スマホでインターホン」の実装。その他、将来的に全駅改札付近にモニター付きインターホンを設置予定
- ③介助が必要な駅利用者に対し、サポートセンターにて申し込みを受けた後、係員を派遣するほか、定期的に利用がある場合は、予め駅係員を派遣する体制を構築